

ひとりで悩まず相談を

認知症の方を介護する家族の会

介護者の方が集まり、認知症の方を介護する際の不安や悩みなどの意見交換をする場です。参加者からは「同じような境遇の方と話して気持ちが軽くなった」との感想をいただいています。ひとりで悩まず、認知症の方を介護する家族と話をしてみませんか？

◆日程・会場（時間：10時～12時 開催要問合せ）

奇数月の第3木曜日 市役所5階会議室

※今年度は下記日程・会場でも開催します

10月20日㊦ 豊田福祉センター／12月15日㊦ ほのおか館／2月16日㊦ 五郷福祉センター



認知症カフェ

認知症カフェは、「オレンジカフェ」「メモリーカフェ」とも呼ばれ、認知症の方やその家族、地域住民らが介護の悩みなどを気軽に話し合える場です。介護関係者などが運営しています。

◆名称 オレンジカフェあぜみち

◆住所 茂原市本納2316-2（スペースぴあ）

◆日時 毎月第2水曜日 13時～16時（開催要問合せ）

岡茂原みかんの会事務局 ☎(34)7755

見守り体制づくり

高齢者見守りネットワーク事業

この事業は、協力事業者が、日常の業務に支障のない範囲で高齢者に対する見守りを行うもので、現在67の事業所等が市と覚書を締結しています。日常の業務で訪れた高齢者宅で異変に気付いた場合や、高齢者から助けを求められた場合に、市や地域包括支援センター、警察などの関係機関に通報していただき、早急に必要な支援につなげていくものとなります。

この事業に賛同し、協力していただける事業者の方がいらっしゃいましたら、地域包括支援室までご連絡ください。

「高齢者の見守りシール」を支給します

認知症により、外出先から家に帰ることができない方の安全の確保と、ご家族や介護する方の負担を軽減することを目的に、見守りシールの支給を行います。

見守りシールは、二次元コードが印字されたシールで、高齢者の衣服やかばんなどの持ち物に貼って使用します。発見した方が二次元コードを読み取ることで、声掛けをする際の注意事項などが確認できます。また、ご家族等とインターネット上の伝言板を通じてやり取りでき、「発見→保護→帰宅」までを迅速に行うことができます。



◆対象 要介護認定または要支援認定を受け、認知症による徘徊症状がみられる在宅の65歳以上の方

◆支給枚数 対象者1人につき40枚（要事前申請）

市民の皆様へ

見守りシールが衣服などについている高齢者を発見・保護した際は、二次元コードを読み取り、迅速な対応にご協力をお願いします。

申請・問合せ 高齢者支援課地域包括支援室（2階） ☎(20)1583 FAX(26)6788